

原稿用紙の使い方 参考資料

※この資料は、光村図書教科書及びHP、東京書籍教科書及びHP から、文字表記・原稿用紙表記に関わる内容を取り上げている。

◎題名、氏名等の書き方について

- ・原則として、きまりはない。

◎かぎ（「」）の扱いについて

- ・会話はかぎをつけて、行を変えて表記する。↓枚数・字数等の関係で、長生生活作文は、地の文に続けて可としている。
- ・会話が二行以上続く場合の二行目以降の表記について、光村教科書では、小学校は一字下げ、中学校では行頭から表記している。一般書は、行頭からの表記が一般的。

※ 小学校は読みやすさ、中学校は一般書への移行を重視している。

- ・段落の冒頭にかぎがくる場合、光村教科書では、会話のかぎは一字下げにしていない。（地の文との段差が大きく、読みにくいため）
- 会話以外のかぎ（作品名等）は一字下げにしている。

◎行頭・行末の表記について

- ・句読点は、行頭にこないようにする。↓行末のますに文字と一緒に書く。欄外に書くこともある。
- ・拗音、促音が行頭にくる場合、見た目、読みにくさ、前文字の右下という原則等の問題があるが、一般的にはそのまま行頭に書くのが妥当。

◎その他の表記等について（長生生活作文の慣例）

- ・縦書き表記を基本としているので、数字は漢数字が適当。
- ・字数の関係で、単位は算用単位を使つてよい。一ますに入れる。（cm など）